

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

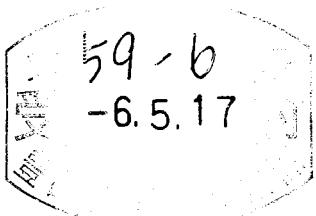
(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月17日

豊田市長 殿

提出者



住所 〒471-0033愛知県豊田市月見町2丁目4番地10

氏名 三登建設 株式会社

代表取締役 松井 理竜

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0565-32-1530

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

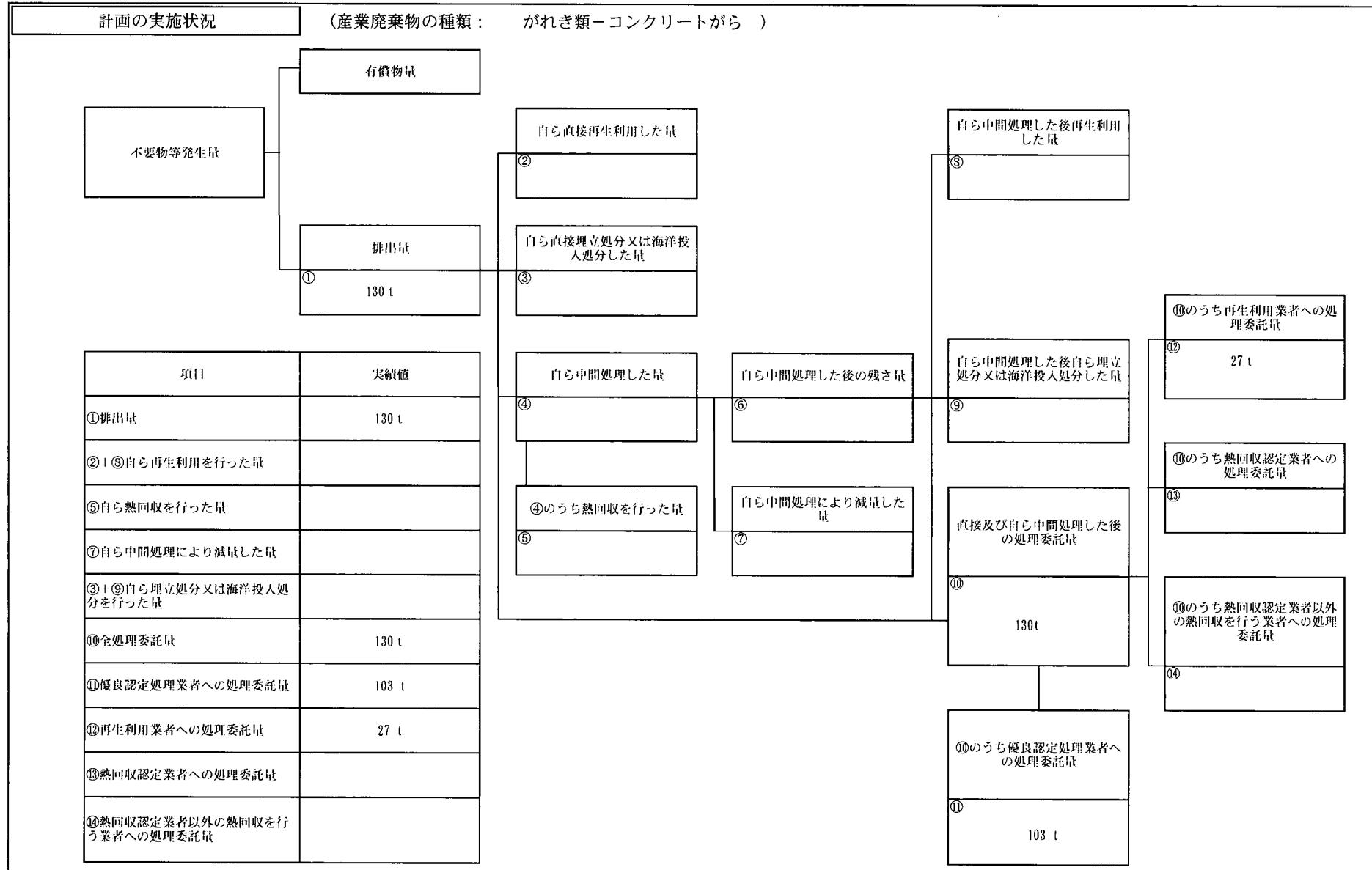
事業場の名称	三登建設 株式会社 各現場
事業場の所在地	愛知県豊田市月見町2丁目4番地10 他 豊田市内各現場
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

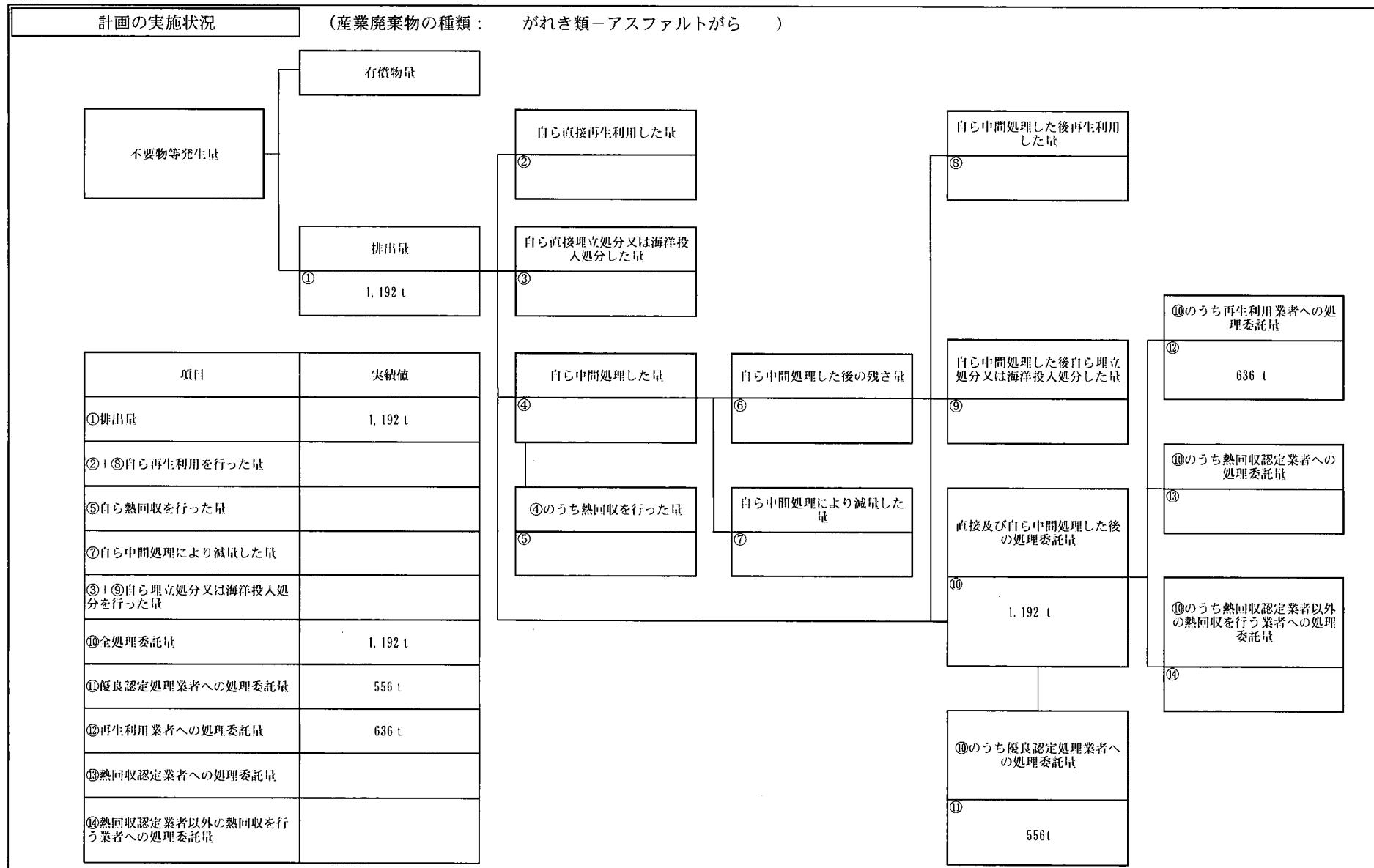
産業廃棄物処理計画における目標値

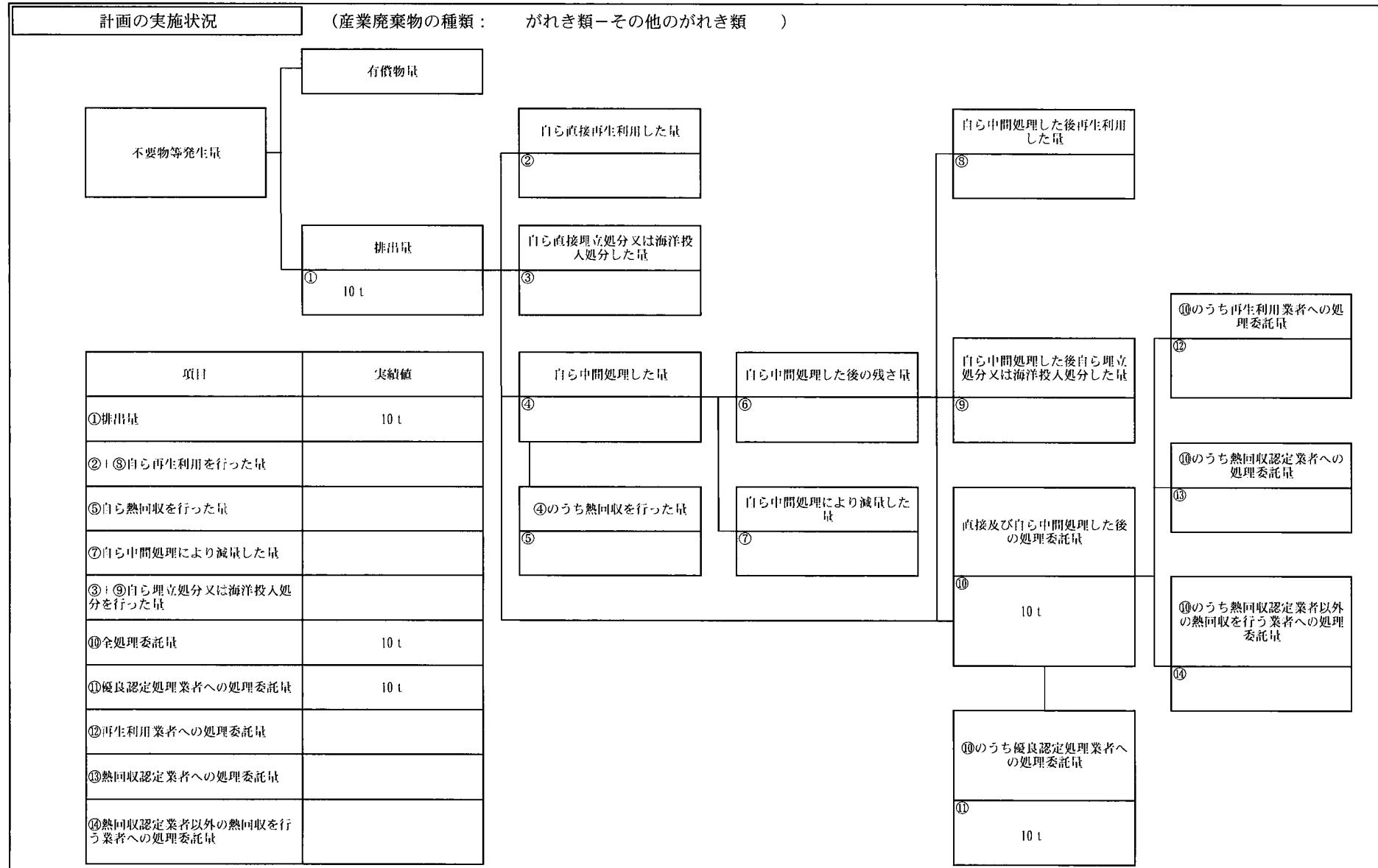
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,620 t	全処理委託量	1,620 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	911 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	709 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

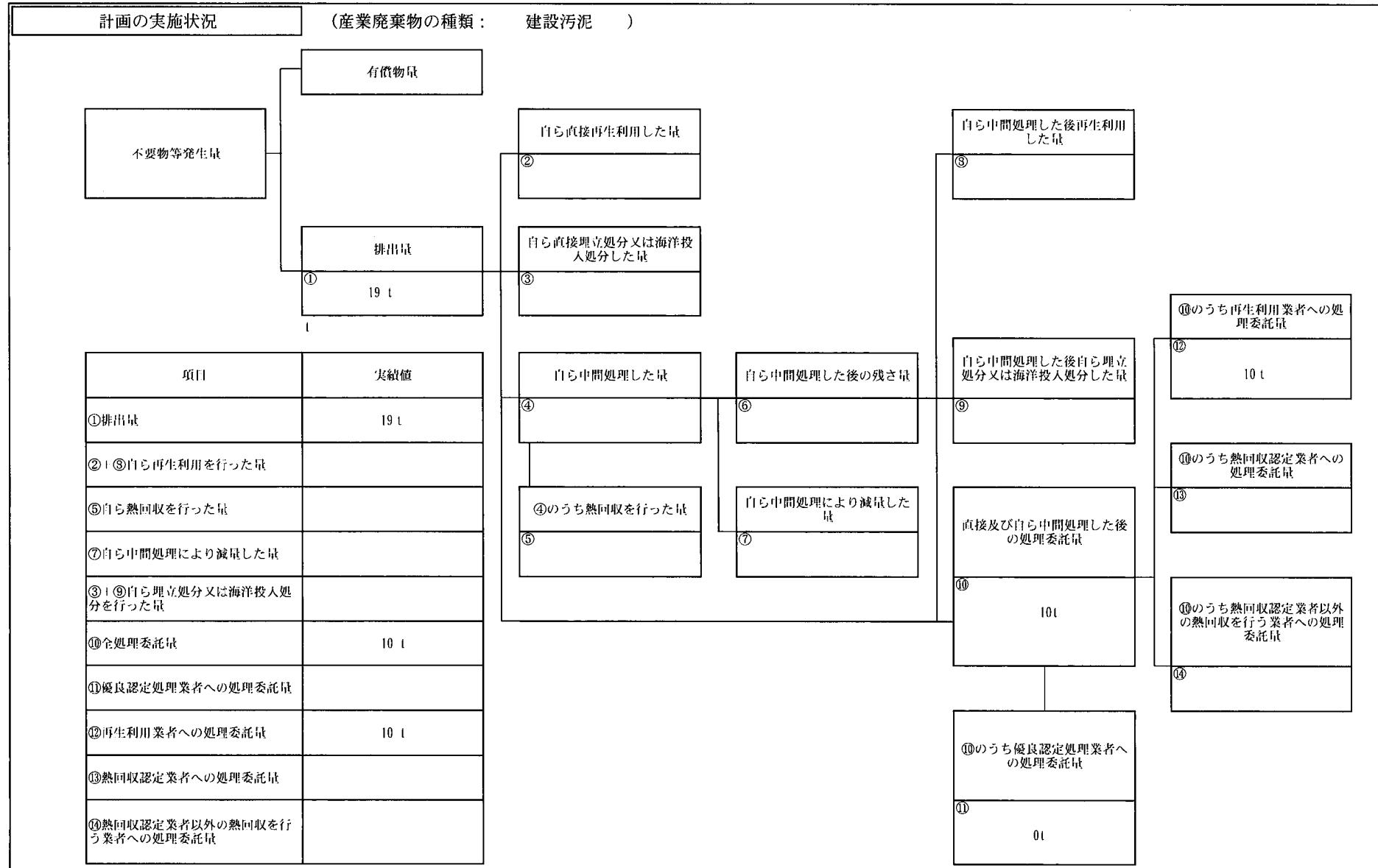
※事務処理欄

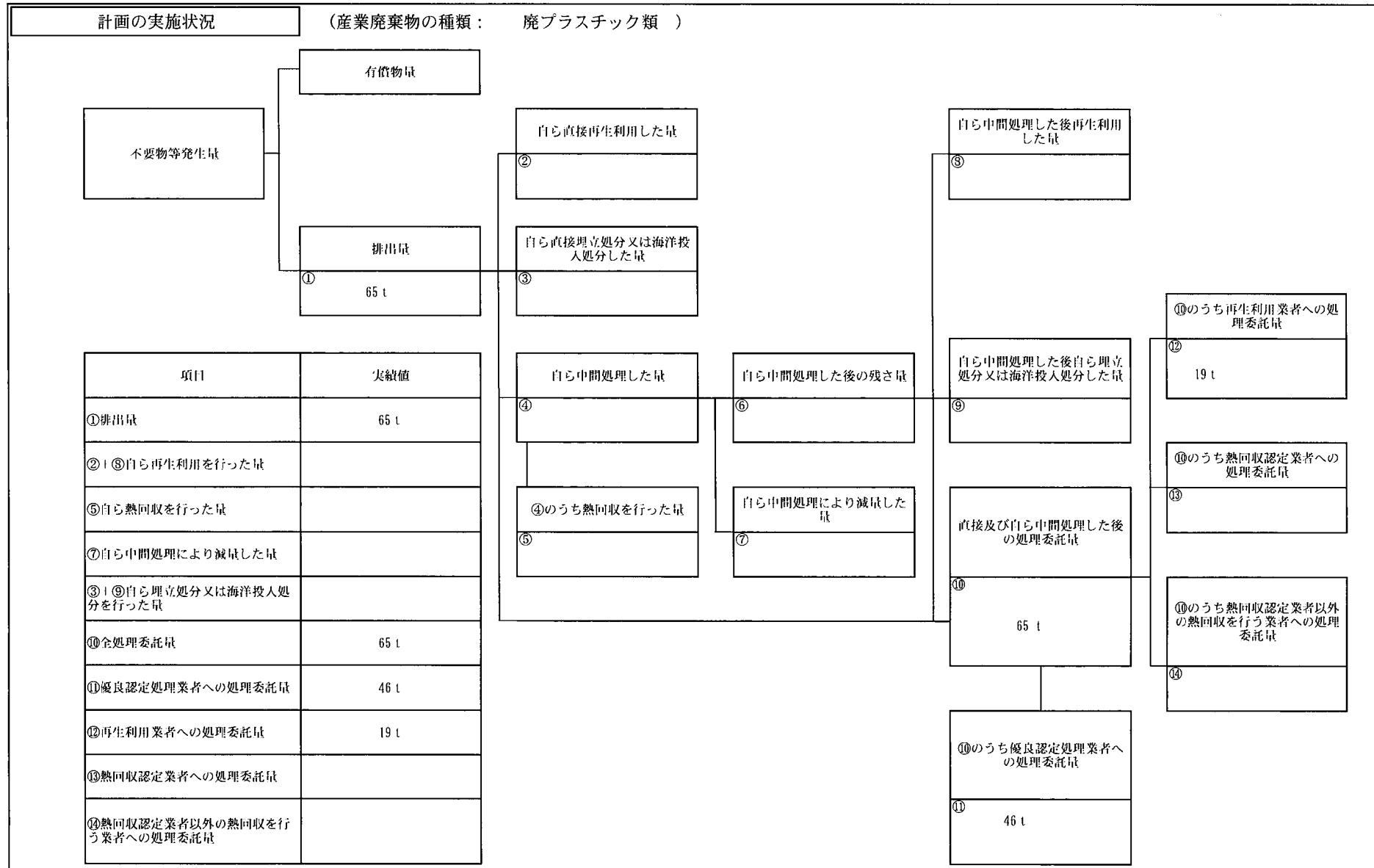
(日本工業規格 A列4番)

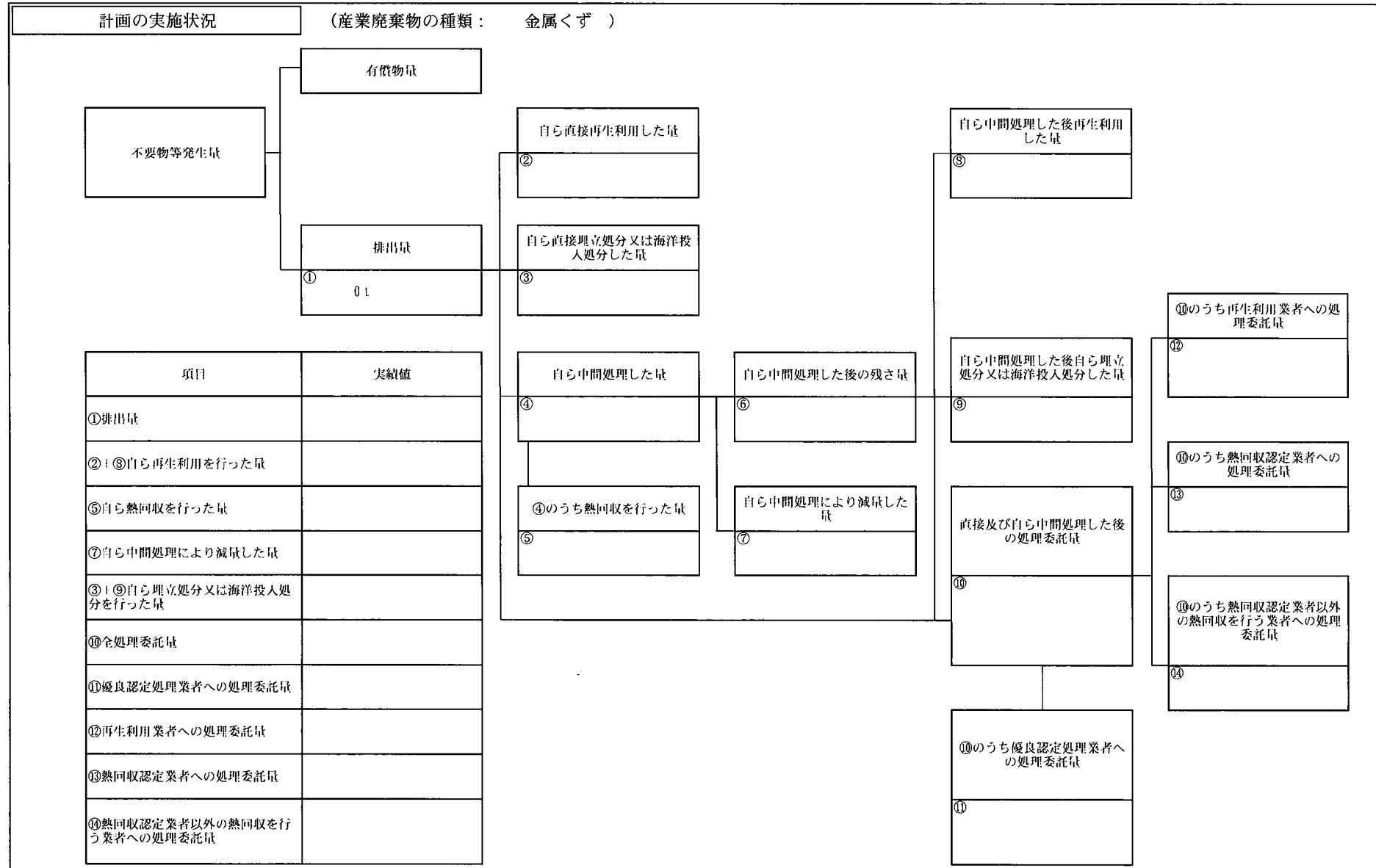


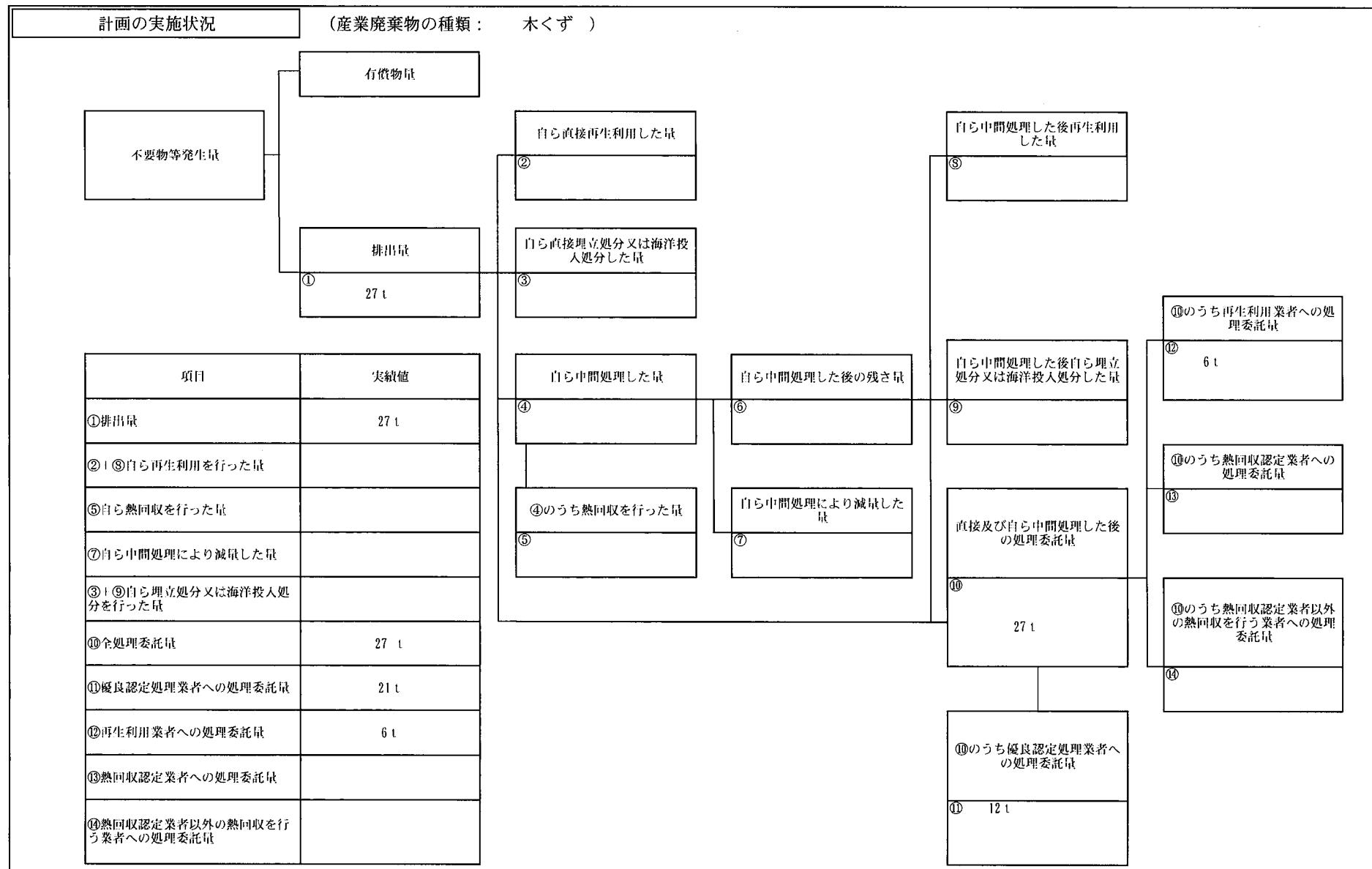


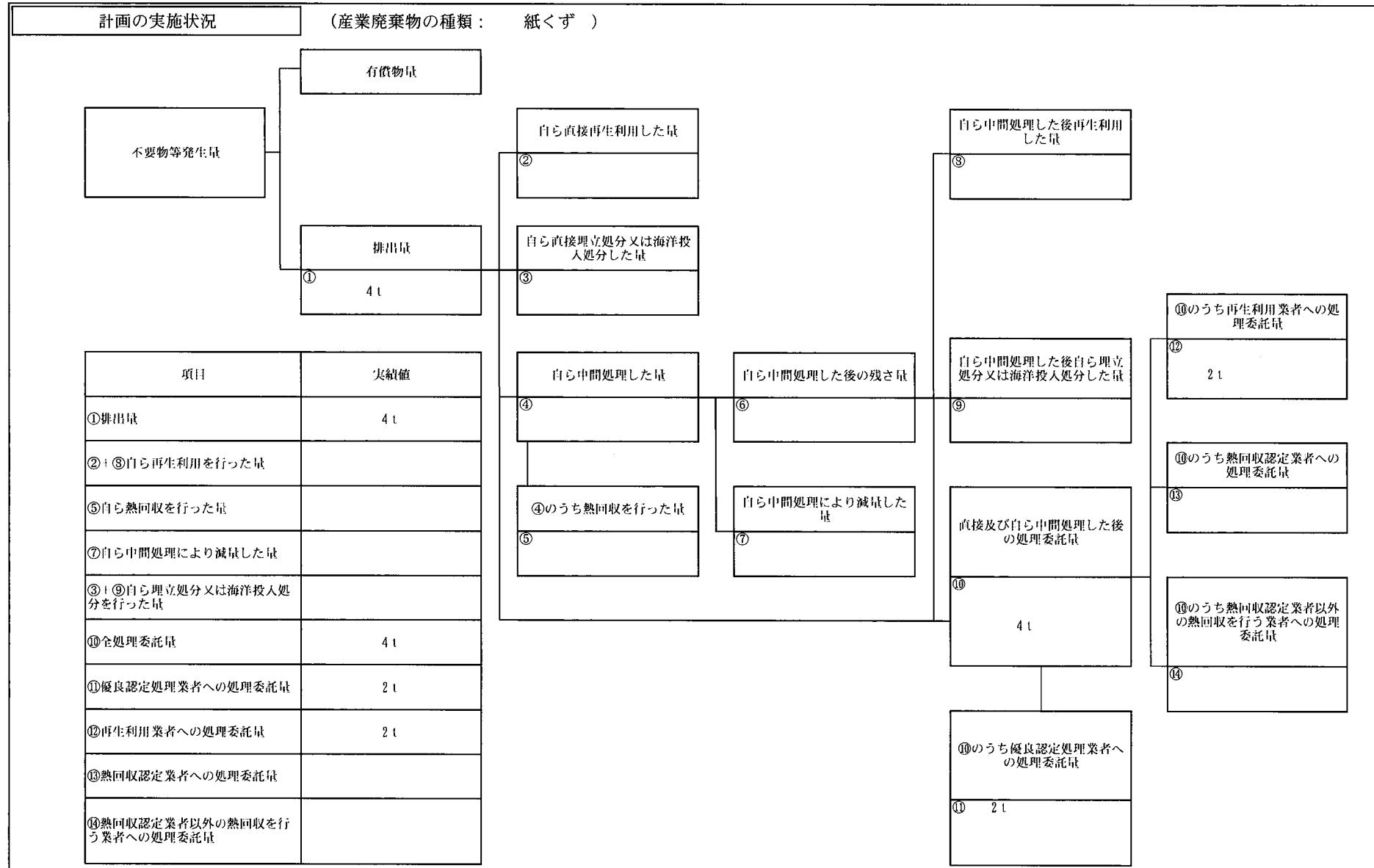


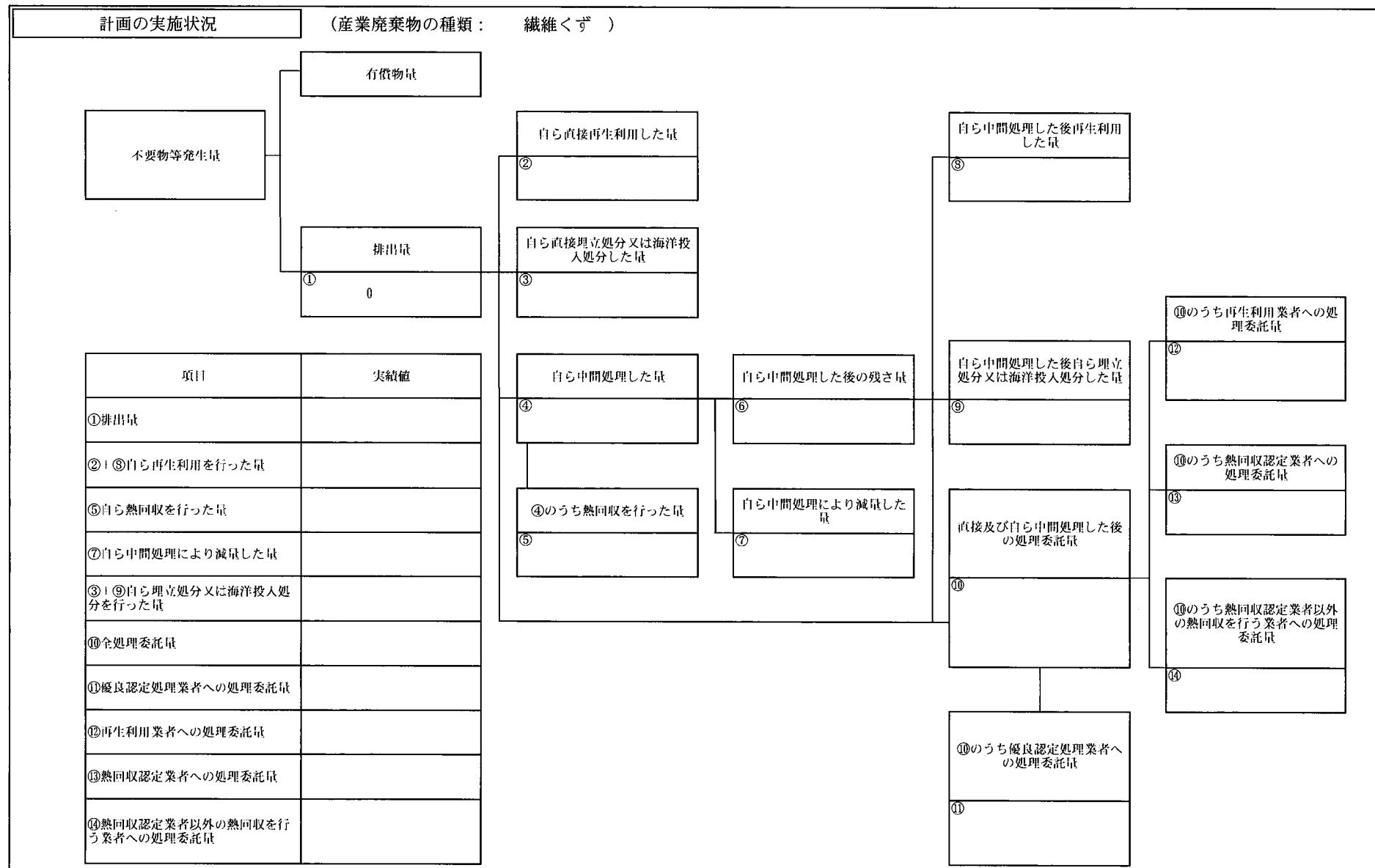


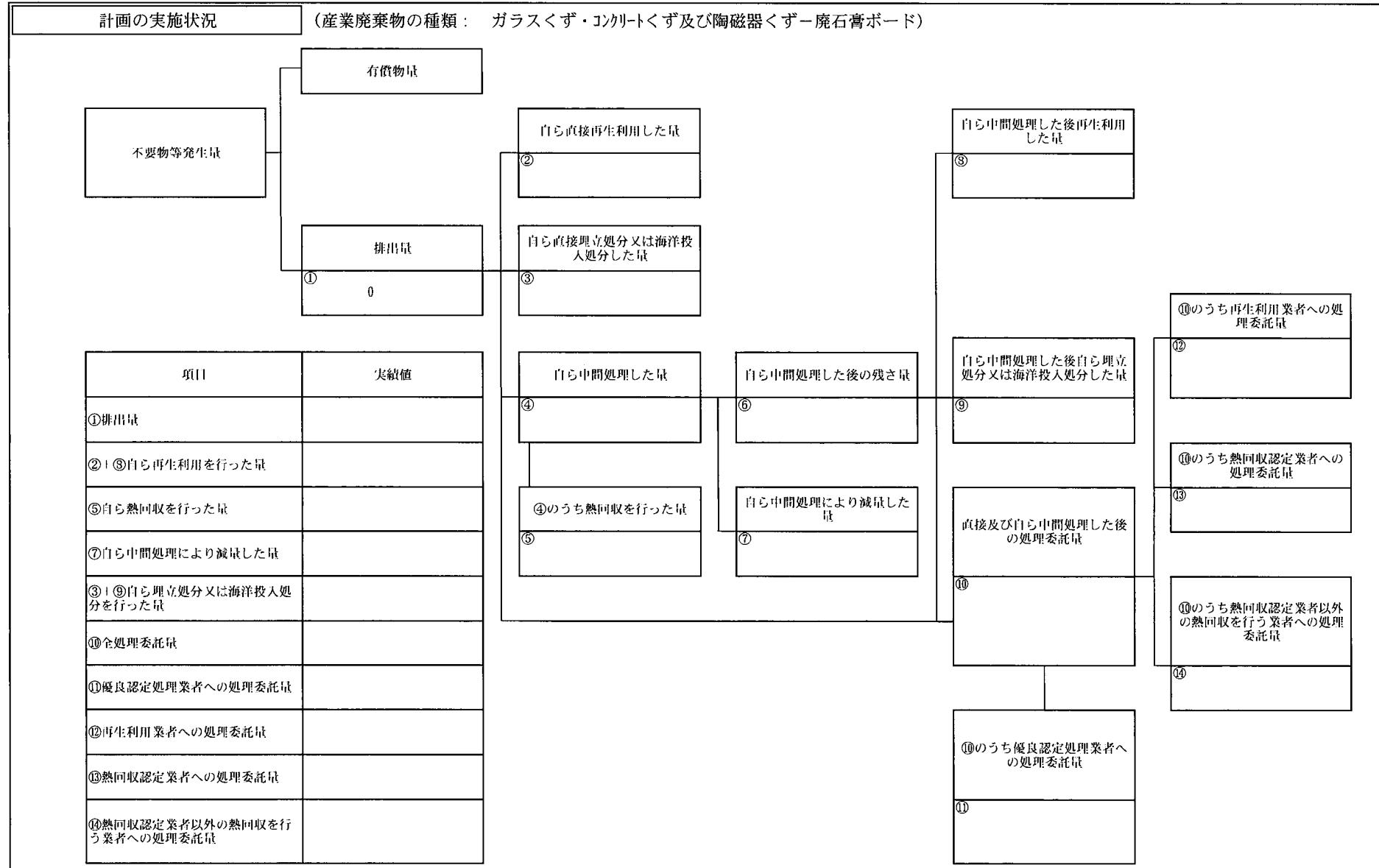




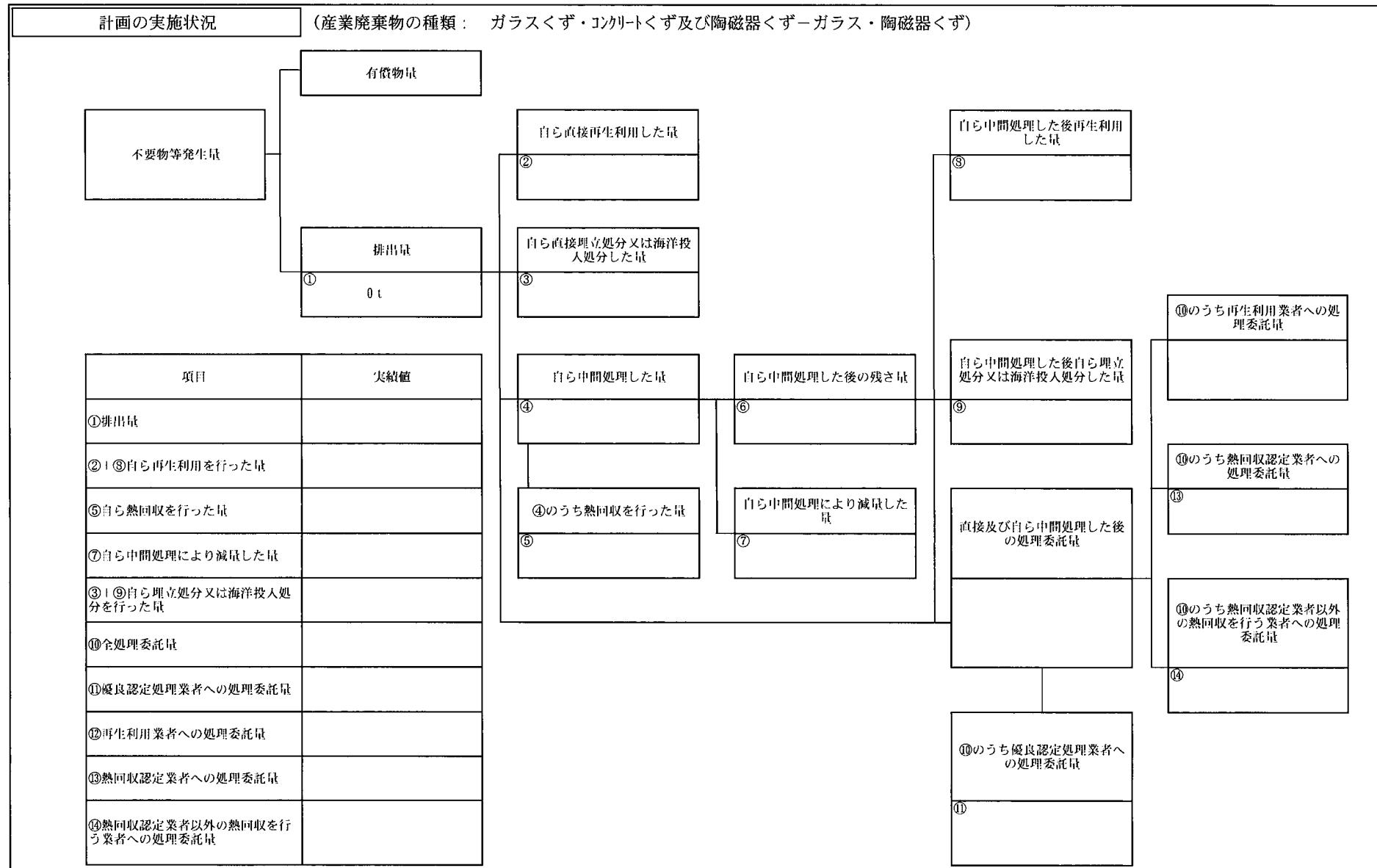


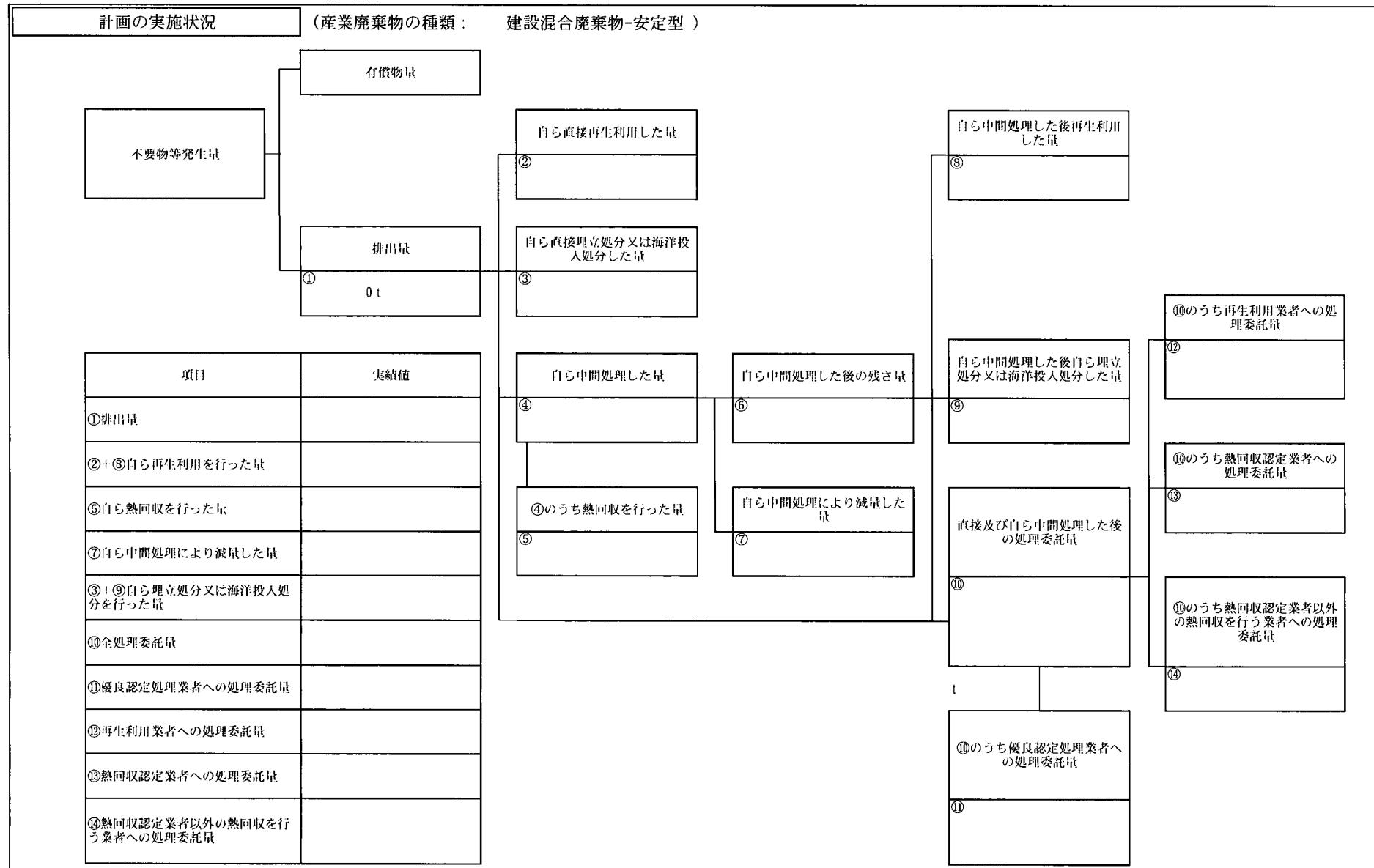


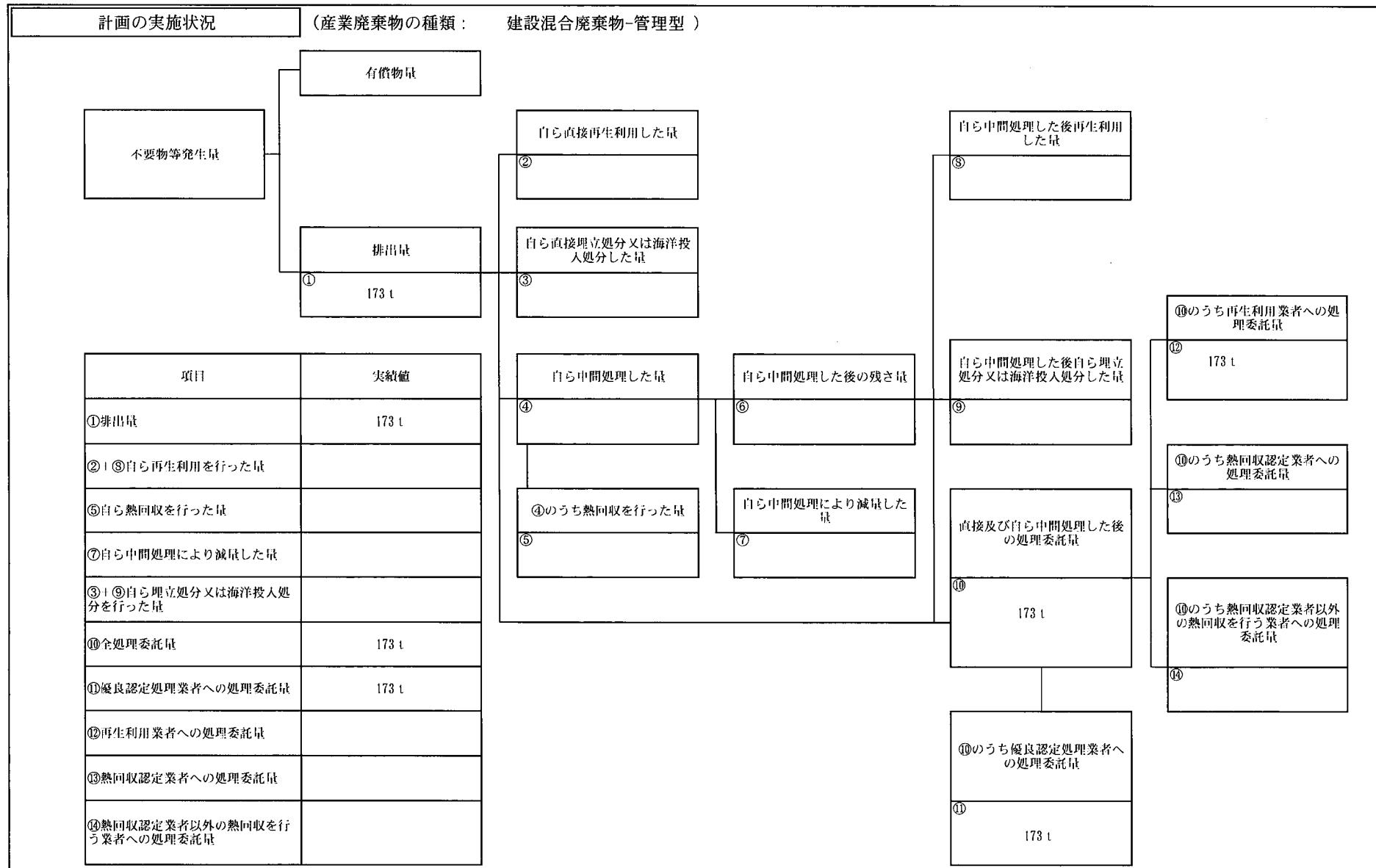


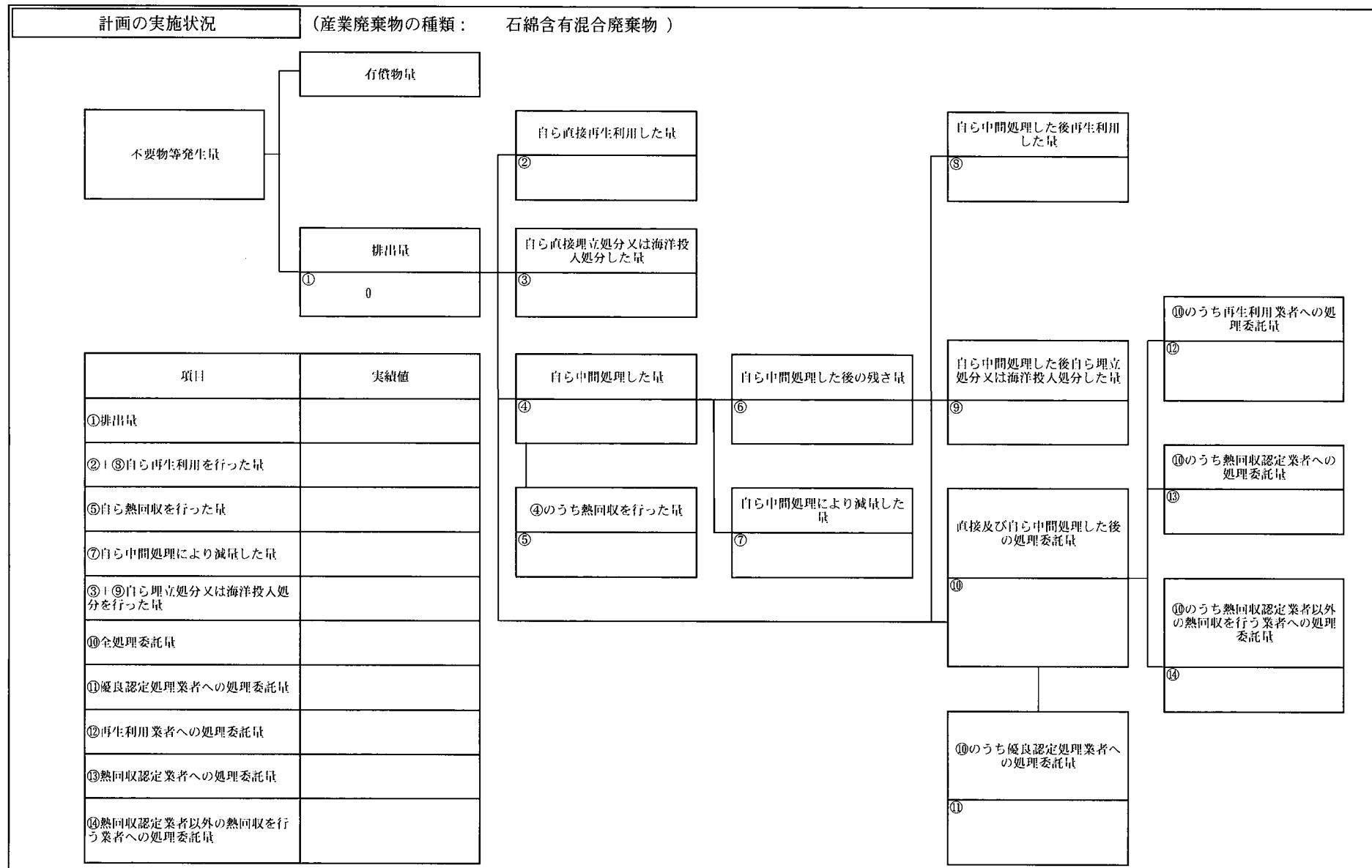


(第2面)









産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考	
事業場の名称	三登建設 株式会社	従業員数(人)	19	前年度の3月31日現在の従業者数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。	
記入者名	松井 理竜	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	60,000万円/年	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。	
連絡先	0565-32-1530	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。	

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	がれき類	がれき類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック
		コンクリートがら	アスファルトがら	その他のがれき類		
a 不要物等発生量(t/年)		130	1,192	10	19	65
b 有償物量(t/年)		0	0	0	0	0
① 排出量(t/年)(①=a-b)		130	1,192	10	19	65
② 自ら直接再生利用した量(t/年)		0	0	0	0	0
再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)		0	0	0	0	0
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
④ 自ら中間処理した量(t/年)		0	0	0	0	0
処理方法	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年)(⑦=④-⑥)		0	0	0	0	0
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)		0	0	0	0	0
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)		0	0	0	0	0
再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)		0	0	0	0	0
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年)(c=⑥-⑧-⑨)		0	0	0	0	0
d 直接処理委託量(t/年)(d=①-②-③-④)		130	1,192	10	19	65
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年)(⑩=c+d)		130	1,192	10	19	65
e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)		0	0	0	0	0
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
f 委託中間処理量(t/年)		130	1,192	10	19	65
処理方法	C	C	C	B	A	
g 委託中間処理により減量した量(t/年)		0	0	0	0	0
h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)		130	1,192	10	19	65
再生利用用途	A	A	A	A	A	
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)		0	0	0	0	0
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
j 再生利用量(t/年)(j=②+⑧+h)		130	1,192	10	19	65
k 中間処理による減量(t/年)(k=⑦+g)		0	0	0	0	0
l 最終処分量(t/年)(l=③+⑨+e+i)		0	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	三登建設 株式会社	従業員数（人）	19	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	松井 理竜	当該事業所の元請完成工事高（円万/年）	60,000万円/年	建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-32-1530	当該事業所の製造品出荷額（円万/年）		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	金属くず	木くず	紙くず	ガラス・陶器くず	混合廃棄物 (管理型)
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 年 度 実 積 ）	a 不要物等発生量（t/年）	0	27	4	0	173
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）		27	4		173
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()				
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外				
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()				
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年)（⑦=④-⑥）		0	0		0
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 年 度 実 積 ）	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()				
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外				
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年)（c=⑥-⑧-⑨）		0	0		0
	d 直接処理委託量 (t/年)（d=①-②-③-④）		27	4		173
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年)（⑩=c+d）		27	4		173
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	B	A 県内・B 県外
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 年 度 実 積 ）	f 委託中間処理量（t/年）		27	4	0	0
	処理方法	E (切断)	C	C	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)		27	4	0	0
	再生利用用途	A	A	A	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 年 度 実 積 ）	i 委託中間処理した後埋立処分又は海 洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外				
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）		27	4		0
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 年 度 実 積 ）	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）		0	0		0
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）		0	0		0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A : 原料・材料 B : 燃料 C : 飼料・肥料 D : 建設材料 E : その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A : 焼却・溶融 B : 脱水・乾燥 C : 破碎・圧縮 D : 中和 E : その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。